

大原美術館、ブリヂストン美術館、ポーラ美術館の学芸リーダーが一堂に集結
異なる文脈を持つ私立美術館3館が、これまでの歴史から現在そして未来の展望を語る

シンポジウム「コレクションと美術館—大原美術館、 ブリヂストン美術館、ポーラ美術館の現場から」ご取材のお願い

4月6日(土)14時~16時 / ポーラ美術館(神奈川県・箱根)

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ポーラ美術館(神奈川県・箱根)は、開館10周年記念の特別企画として、シンポジウム「コレクションと美術館—大原美術館、ブリヂストン美術館、ポーラ美術館の現場から」を、2013年4月6日(土)14時~16時にポーラ美術館で開催します。

当館は、コレクター鈴木常司のコレクションを紹介する取り組みを重ね、2012年に開館10周年を迎えました。これを機に開催される本シンポジウムでは、同じく個人コレクションを基盤にして、長い間活動を積み重ねてこられた大原美術館とブリヂストン美術館から経験豊かな学芸員をお招きし、現場の目線で各館のこれまでの活動やコレクションについて語り、今後の活動を探ります。

前半のプレゼンテーションでは、各館のコレクション形成の過程や美術館活動の歴史などを紹介、後半のディスカッションでは、今後を見据えた現場の仕事について議論します。3館が集うことによってはじめて見えてくる、美術館の現場とコレクションのリアルな姿を、存分にご堪能いただけます。

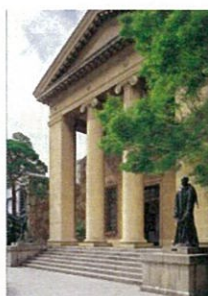
つきましてはシンポジウムの開催概要をご案内させていただきます。コレクションをめぐる、異なる歴史や背景をもつ私立美術館3館が初めて集うこの機会を、何卒ご取材賜りますようお願い申し上げます。 敬具

記

- 【日時】4月6日(土)14時~16時 受付開始:13時45分
【場所】ポーラ美術館 地下1階 講堂(神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285)
【受付場所】ポーラ美術館 1階 総合受付
【プログラム】14:00~14:10 趣旨説明
14:10~15:10 各館からのプレゼンテーション(20分×3)
柳沢秀行(大原美術館 学芸課長)
新畑泰秀(石橋財団ブリヂストン美術館 学芸課長)
岩崎余帆子(ポーラ美術館 学芸課長)
15:10~16:00 ディスカッション(パネリスト:柳沢、新畑、岩崎)
【主催】ポーラ美術館
【後援】美術史学会



ブリヂストン美術館



大原美術館



ポーラ美術館
撮影:石黒守

シンポジウム概要

■各館からのプレゼンテーション (14:10~15:10)

テーマ：つながる歴史—コレクター、コレクション、私立美術館、そして現在の活動—

今回シンポジウムに参加する3館はいずれも、個人コレクターが収集したコレクションを収蔵品の核としています。しかし、作品収集をはじめた経緯や方法、美術館設立の目的意識などはそれぞれ異なります。そして、美術館設立までの文脈の違いは、その後の美術館の歴史や活動方針の違い、ひいては展示や教育普及プログラムなど現在の仕事のあり方にもつながっています。プレゼンテーションパートでは、各館がそれぞれのコレクションにまつわる固有の歴史や活動方針について語ります。

■ディスカッション (15:10~16:00)

テーマ：コレクションと向き合っ—調査、展示—

個人コレクションを美術館設立の基礎とする私立美術館にとって、その根幹となる部分は、やはり収蔵作品です。今回のシンポジウムにおいても、学芸員が行う現場の仕事のなかで第一に取り上げるべきは、コレクションと向き合う仕事だと考えます。ディスカッションパートでは、各館の現場で学芸員がどのようにコレクションと向き合い、そこから普段目にする展示や教育普及プログラムなどの美術館活動がどのように展開されているか、また、美術館の現場が自館の今後をどのように見据えて活動を展開しているかを探ります。

プレゼンター・パネリストの紹介

■柳沢秀行 (やなぎさわ・ひでゆき)

公益財団法人大原美術館学芸課長、プログラムコーディネーター。筑波大学芸術専門学群芸術学専攻卒業。専門は日本の近現代美術史。岡山県立美術館学芸員を経て、2002年より大原美術館に勤務。これまで、1994年「1920年代パリの日本人画家」、1999年「中山巍」(以上、岡山県立美術館)、2006年「インパクト 東と西の近現代—もう一つの大原美術館」、2009年「大原總一郎生誕100年記念展 大原總一郎の美術館創造」(以上、大原美術館)などの企画展を担当。

■新畑泰秀 (しんばた・やすひで)

公益財団法人石橋財団ブリヂストン美術館学芸課長。成城大学大学院文学研究科博士後期課程中途退学。専門はフランス近代絵画史。横浜美術館学芸員を経て、2010年よりブリヂストン美術館に勤務。これまで、1999年「セザンヌ展」、2008-09年「セザンヌ主義：父と呼ばれる画家への礼讃」(以上、横浜美術館)、2011年「アンフォルメルとは何か?—20世紀フランス絵画の挑戦」、2012年「ドビュッシー、音楽と美術—印象派と象徴派のあいだで」(以上、ブリヂストン美術館)などの企画展を担当。

■岩崎余帆子 (いわさき・よおこ)

公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館学芸課長。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻修了。専門は19世紀のフランス美術。東武美術館、ポーラ美術館設立準備室を経て、2002年よりポーラ美術館に勤務。これまで、2005年「ポーラ美術館の印象派」、2006-2007年「ドガ、ダリ、シャガールのバレエ 美術の身体表現」、2007年「モネと画家たちの旅—フランス風景画紀行」、現在開催中の「ポーラ美術館開館10周年記念 コレクター鈴木常司 美へのまなざし」(すべてポーラ美術館)などの企画展を担当。

<この件に関するお問い合わせ>

ポーラ美術館広報事務局(共同PR内): 増田、小椋、三井

TEL 03-3575-9823 / FAX 03-3574-0316 / メール s-masuda@kyodo-pr.co.jp

シンポジウム「コレクションと美術館—大原美術館、 ブリヂストン美術館、ポーラ美術館の現場から」

取材申込書

会場の都合上、お手数をおかけいたしますが、本用紙にご記入の上
4月4日(木)までに上記 FAX までご返信くださいますようお願い申し上げます。

ご出席 ご欠席

貴社名		
媒体名		
部署名		
芳名	(計 名)	
ご住所	〒	
連絡先	TEL	FAX
撮 影	<input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> VTR <input type="checkbox"/> なし	
通信欄		

<ポーラ美術館へのアクセス>

●鉄道・バスをご利用の場合

- ・箱根登山鉄道「強羅駅」下車後、観光施設めぐりバス「湿生花園」行にて13分「ポーラ美術館」下車
- ・「小田原駅」または小田急線「箱根湯本駅」より湖尻・桃源台行バスで「仙郷楼前」下車後、観光施設めぐりバス「小湧園、ユネッサン」行にて3分「ポーラ美術館」下車

●お車をご利用の場合

- ・東名御殿場 IC より乙女峠経由、県道 733 号線で約 20 分

【住所】神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

【TEL】0460-84-2111 【ホームページ】<http://www.polamuseum.or.jp>